

➤ 「高根の森」の散策路の階段材が老朽化しているため、国産材を用いた階段の整備を実施。

事業内容

高根の森の階段整備

- 散策路の階段材が老朽化しているため、国産材を用いた階段整備を実施

【事業費】1,210千円（全額譲与税）

【実績】階段 51段分（木材使用量計1.68立米）

取組の背景

- 「高根の森」は、山や生活を守る保安林の機能を高め、また、多目的に利用していただくため、1992（平成4）年に多目的保安林総合整備事業のひとつとして、散策路と季節ごとに楽しめる森が整備された。
- 30年以上が経過し、木製の階段材が老朽化しているため、機能回復と景観を守ることを目的に階段整備を実施した。



（整備した階段）

工夫・留意した点

- 国産材の木材を使用することで、暖かみを感じられるようにした。
- 「高根の森」の利用者に木材の魅力への気付きを促す。
- 公共施設において、木材を利用することにより、木材利用の普及啓発、需要拡大に努める。

取組の効果

- 「高根の森」の利用者に、木材に対する親しみや、木の文化への理解を深めることにつながったと考えられる。
- 階段の整備以降、町内外に関わらず、高根の森に関する問い合わせをいただくようになった。

基礎データ

令和7年度譲与額：5,986千円	私有林人工林面積（1）：27ha	
林野率（1）：5.1%	人口（2）：49,596人	林業就業者数（2）：0人

1：「2020農林業センサス」より、2：「R2国勢調査」より